



渋谷の学校で

ボランティアをしてみませんか？

渋谷区スクール・アシスタント・メンバーズ (SAM)

渋谷区スクール・アシスタント・メンバーズ（通称 SAM）とは、教員を目指している、または教育に関心をもつ大学生・大学院生などが渋谷区立の小学校・中学校・幼稚園で活動するボランティアです。

年間約200名が活動しており、SAMを経験して教員になる決意をした方、そして実際に教員になった方がたくさんいます。教育に携わる仕事がしたい、そんな希望を持つみなさんにとって、SAMのボランティア活動を通して学校現場を体験することは、いろんなことを学ぶチャンスです。

あなたもぜひ、参加してみませんか？

スクール・アシスタント・メンバーズ (SAM) ってどんな活動？活動している方に伺いました！

どんな活動をしているの？

【小学校】

- ✦ 授業の補助（算数で理解できなかったところの個別指導や、図工での補助など）や、休み時間に子供たちと遊んだり、給食や掃除なども子供たちと一緒にしています。
- ✦ 主に低学年（1・2年生）の学習補助や清掃活動、給食配膳の補助、展覧会などの行事、社会科の見学、国際交流のお手伝いを行いました。



【中学校】

- ✦ 授業内で先生の指示を理解できていない生徒のサポートをしています。例えばALTの英語を簡単なものに言い換えて伝えることや、答えられた時にスタンプを押すお手伝いをしています。英語の授業では英作文をつくる時に質問が多いので、一緒に辞書をひいたり、いくつか単語の候補を挙げて一緒に考えたりしています。

✦ 国語の授業の見学や、テストの採点、宿題の添削、部活動の指導など、幅広くお手伝いをしています。

【幼稚園】

- ✦ 園児の遊びの補助や壁面構成づくり、教材づくり、清掃などを行っています。クラスに入って一緒に遊んだり、子供たちの活動の準備や片付けなどのお手伝いをしたりしています。運動会など行事のお手伝いも行いました。



やりがいを感じることや、嬉しかったことは？

【小学校】

- ✦ 子供との関わりの中で、何かできたときに一緒に喜び合うことができたり、子供が楽しそうにいろいろな話を聞かせてくれたりする時がとても楽しく嬉しいです。また何かをしてあげたときに「ありがとう」と言ってくれることがとても嬉しいです。
- ✦ SAMの活動は1回限りではなく長期に学校や学級に携わることができるため、名前を覚えてもらい、信頼をよせてもらえることがとても嬉しいです。また、子供たちが日々成長していく過程を担当の先生と一緒に見届けられるのが嬉しいです。
- ✦ 保健室へ来室した子供へのさまざまな対応を1日を通して見ることができ、やりがいを感じます。また、直接の症状・様子を問診することができ、さまざまなケースを知ることができます。来室の多い子供が気軽に相談してくれることがあり、嬉しいです。（養護教諭志望）

【中学校】

- ✦ 生徒が解けない問題にあたっている時に、一声かけたことによって、自ら答えを導き出せた瞬間はこちらも嬉しいです。もう1つは朝から1日を通して学校現場にいて、学校の全体像が少しずつ見えるようになってきたことです。生徒側ではなく「教師目線」で見る学校について学びました。
- ✦ 生徒の成長を身近に感じられることです。廊下等で何気なく話しかけてもらったときに嬉しかったです。

【幼稚園】

- ✦ 週に1回活動をしているため、前の週にできなかったことができるようになっていたり、子供の成長する姿を見ることができたり、子供同士のトラブルの対応の仕方や声掛けなどを間近で見ることができることです。
- ✦ 継続的に活動することで、子供たちとの関係を築くことができます。個人的には、私がSAMで園に行く曜日や名前を覚えてくれて、「明日も遊ぼうね」と言ってくれることがとても嬉しいです。



SAMの活動の中で大変だったこと、苦労したことは？

【小学校】

- ✦ 自分の考えを説明することが苦手な子供もいるため、困っている素振りを見せている、先生の話を理解できない等、困っている内容を把握するのに苦労することがあります。
- ✦ 学生とは言っても子供たちの前では先生なのできちんとした態度であったり、友達のような関係にならないように気をつけたりしました。担当クラスが2クラスあったので、子供たちの名前をしっかりと覚えたり、担任の先生の指導方法を把握したりして、矛盾のないようにしました。

【中学校】

- ✦ 生徒との接し方です。話かける言葉や距離感など試行錯誤しながら活動しています。
- ✦ 生徒への声掛けの難しさを感じています。どのようにしたら、やる気や興味を持ってもらえるのか、いつも考えています。

【幼稚園】

- ✦ 子供同士のトラブルや、やってはいけないことをしている子供への対応の仕方が最初分からなかったことです。また、どこまで子供の活動に対して手助けをして良いのか分からなくて苦労しました。
- ✦ 子供が何かを作る時に、教えるための言葉をうまく遊びながらわかりやすく説明することが難しいです。

大学生生活との両立で大変なこと、工夫していること

- ✦ 大学の時間割で午前か午後のどちらかに授業を入れ、空けた時間にSAMの活動をしました。大学から近い中学校でSAMをしたので、時間を有効に使うことができました。
- ✦ 大学の無い曜日をSAMの日と決めて1日活動をしました。また、ガイダンスや実習などで活動日が不定期になるときは、事前に先生や副校長先生に伝えるなど工夫しました。
- ✦ SAMの活動で経験したことを意識しながら大学の講義を聞くと、理解が深まります。また、大学で得た知識を参考にしながら活動をしています。そうすることで、どちらの理解もより一層深まると思います。
- ✦ 授業があると、発表会などせっかく練習を見ていても本番を見ることができず残念ですが、忙しい授業の中でも大学に近い学校や幼稚園を探せば少ない時間でも活動することは可能だと思います。



これから SAM をはじめる方にメッセージを！

【小学校】

- ✦ 大学生活と両立しようとする大変なときもあるかもしれませんが、まじめに向き合った分だけ子供への愛着を持つことができます。長く続けると、その分だけ活動が楽しくなります！
- ✦ はじめは自分にできるのか不安に思うこともありましたが、子供たちと関わっていく中で自分に足りないことが見えたり、先生方の実際の指導を見たりすることができ、大学の授業や教科書では学べないことがたくさん学べます。

【中学校】

- ✦ 教育実習では自分のことで精いっぱいになりがちですが、SAM では長い時間、生徒に関わることができ、先生方のお話もためになることばかりです。とても良い経験だと思うのでぜひ長期間参加してみてください。

【幼稚園】

- ✦ 最初は活動をしたいと思いつながらなかなか思い切りがつかいせんでしたが、やってみるととても楽しく、先生方も優しく教えてくださるのでとても勉強になります。また、実際にやってみることで、自分の将来を決めるきっかけにもなります。私もまだまだなので、ぜひ一緒にがんばりましょう。
- ✦ SAM の活動を始めてから、自分がそれまで持っていた“幼稚園”や“先生”に対する考え方や、子供に対する視点が変わりました。毎週行くたびに必ず発見や気づきを得ています。教育や保育に携わる人は実際に人と触れ合うことがとても大切だと思うので、貴重な経験ができると思います。

SAM をはじめるためにはどうすればいいの？

活動を希望する小学校、中学校、幼稚園に直接連絡をします。

面接を受け、活動の詳細について相談したのち、ボランティア保険の加入手続きを済ませ、「活動希望申込兼承諾書」・「宣誓書」を提出し、活動スタート！

(学校の連絡先は、SAM プラン募集一覧をご覧ください。)

活動にあたって

SAM の活動の前にボランティア保険（傷害・賠償責任補償付）に加入ください。1回の活動につき500円相当の図書カードを進呈します。ただし1回の活動が4時間を超えた場合は、1000円相当の図書カードを進呈します。

お問い合わせ

渋谷区教育委員会 教育指導課

TEL 03-3463-1211 内線(7531)

FAX 03-5458-4952

※活動に関する詳しいお問合せは、活動校（園）へ直接ご連絡ください。